

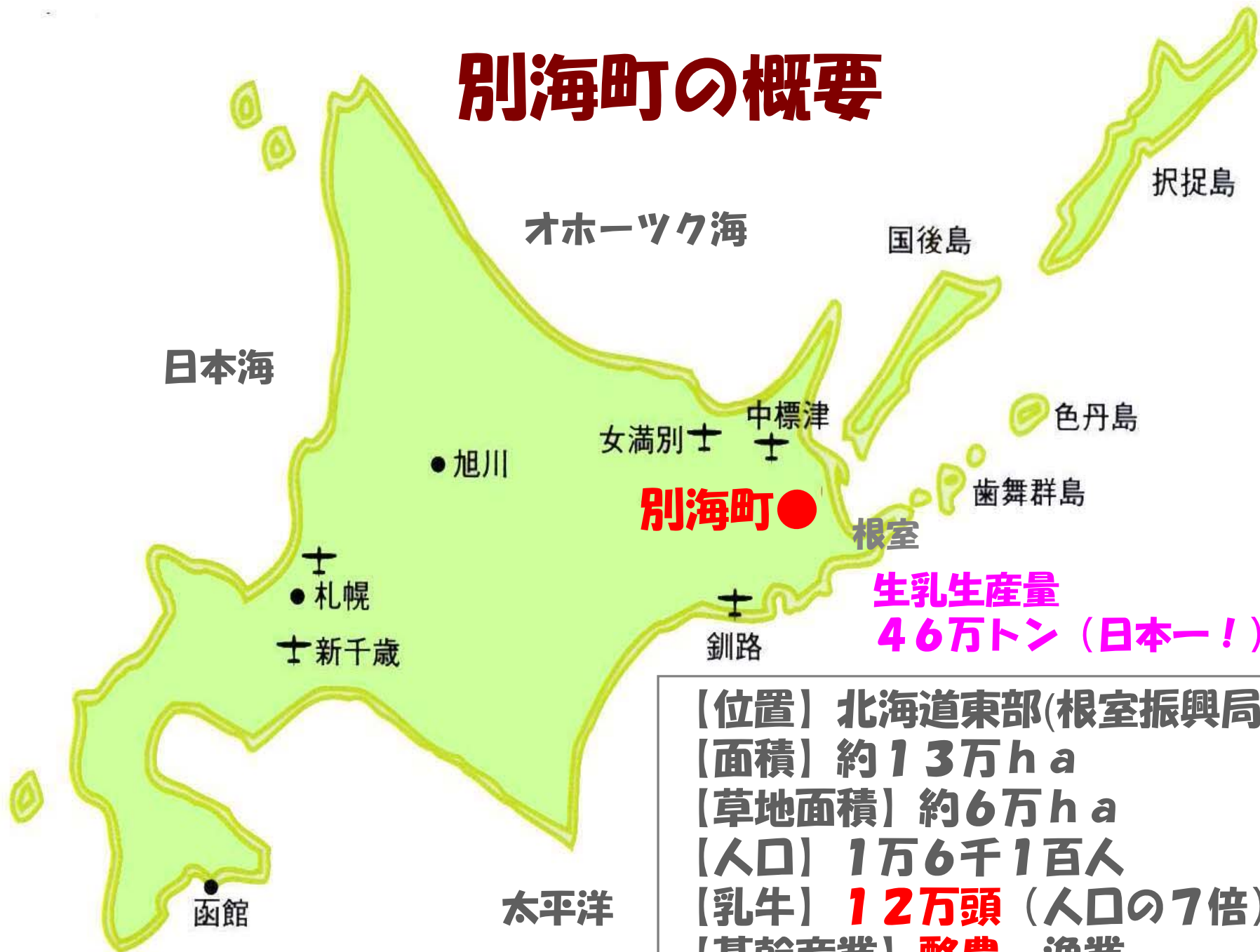


平成22年度畜産大賞-地域振興部門

家族と大草原で牛飼いをしませんか
～深刻化する担い手不足対策の
ための新規就農者支援システム～

有限会社 別海町酪農研修牧場

別海町の概要



生乳生産量
46万トン (日本一!)

- 【位置】北海道東部(根室振興局)
- 【面積】約13万ha
- 【草地面積】約6万ha
- 【人口】1万6千1百人
- 【乳牛】12万頭 (人口の7倍)
- 【基幹産業】酪農、漁業

別海町酪農の歴史

- 明治時代より生乳生産開始
- 1955年～国営根釧パイロット事業
- 1973年～新酪農村建設事業
- 一時は酪農家戸数「2,600」
- 人口もピーク時2万人を超える

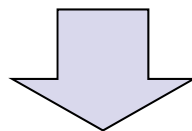
研修牧場設立の背景

しかし…

後継者不足などから離農が増加。
人口も減少。

規模拡大での生産力の確保も限界に。

このままでは、町の活気が失われる…



平成8年

「有限会社 別海町酪農研修牧場」を設立

平成9年より次代の担い手候補受入開始！



研修牧場の概要

- **管理運営及び構成員**
 - ・ 第3セクター方式
 - ・ 株主一別海町、町内3農協
 - ・ 代表取締役（社長） 一副町長
- **職員**
 - ・ 指導員4名（牧場長含） 事務員1名
- **研修生（2010/4/1）**
 - ・ 酪農研修生 7組（14名）

研修牧場の施設



研修館（事務所・短期研修宿泊施設）

事務所内の保育施設



研修牧場の施設



研修生住宅（妻帯者用）

研修牧場の施設



フリーストール牛舎

研修牧場の施設



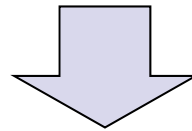
タイストール牛舎

バイオガスプラント



研修牧場の運営

- 生乳販売等による収入（生乳販売先のほぼ100%が「べつかい乳業興社」）
- 別海町及び農協（JA道東あさひ、JA中春別、JA計根別）より年間約5,000万円の補助



研修生の3年間で1千万円以上かかるという生活費を保証

研修生の受入（待遇）

- **身分**

牧場の臨時職員として採用

- **生活**

月額1人**13万円**を支給（夫婦**26万円**）

- **社会保険等**

雇用保険、健康保険、厚生年金等加入

- **住居**

妻帯者用住宅貸付（**2,500円/月**）

研修生の受入（待遇）

- **休日**
 - ・ 4週4休（ただし、農繁期は調整）
 - ・ 産前産後休暇、特別休暇（冠婚葬祭）
- **研修期間**
 - ・ 原則3年間（習熟度により短縮あり）
- **研修内容**
 - ・ 実践研修作業
 - ・ 座学研修
 - ・ 必要に応じ、農家、ヘルパー研修あり

実践研修内容

- 4 : 30** 搾乳開始、哺育、育成管理、除糞、餌給与
7 : 00 終了
10 : 00 繁殖・治療対応（授精、獣医師）、その他
12 : 00 終了
15 : 00 朝と同じ作業
16 : 00 搾乳開始
18 : 00 終了
20 : 00 夜の見回り一分晩・疾病・発情・餌寄せ等
(男のみ)

夏場は、牧草作業もあり

実践研修風景



ミルクングパーラー
での搾乳

タイストール牛舎
での搾乳



實踐研修風景



哺育作業



実践研修風景



分娩介助

牧草作業



実践研修風景



放牧風景

牛の移動



6 16:10



座学研修

酪農技術

- 酪農用語—普及所
- 安全対策—農業試験場
- 乳牛管理—NOSAI(獣医)
- 餌給与—普及所
- 示一夕活用—乳検担当者
- 草地管理—農業試験場
- 衛生管理—家保

酪農経営

- 農場リース事業—開発公社
- 就農条件—JA・別海町
- 酪農体系—普及所
- 営農計画—JA
- 農業簿記、税務—経営センター
- 家畜共済制度—NOSAI
- 農村生活—普及所

座学研修風景



ちなみに・

短期研修について

- **目的**：地元の後継者を確実に確保することと、消費者等に対し酪農への理解度を深めてもらう
- **対象者**：地元高校生・中学生、消費者団体等
- **内容**：高校生は1週間程度の宿泊研修、中学生及び消費者団体等は搾乳体験等

研修生受入実績

年度	受入数		研修中止		年度	受入数		研修中止	
	夫婦	独身	夫婦	独身		夫婦	独身	夫婦	独身
9	5組	2人		2人	16	4組			
10	7組		2組		17	3組	1人		
11	4組				18	3組			
12	6組		1組		19	5組			
13	4組		1組		20	4組			
14	5組		1組		21	5組			
15	4組		1組		22	1組			
					計	60組	3人	6組	2人

研修生出身地

北海道	8(2)	山梨	1	奈良	1
群馬	4	長野	1	兵庫	5
栃木	2(1)	富山	1	広島	1
埼玉	7(2)	愛知	4	徳島	1
東京	7(1)	岐阜	2(1)	愛媛	1
神奈川	6	京都	1	福岡	2
千葉	1	大阪	3	宮崎	1
				計	60(7)

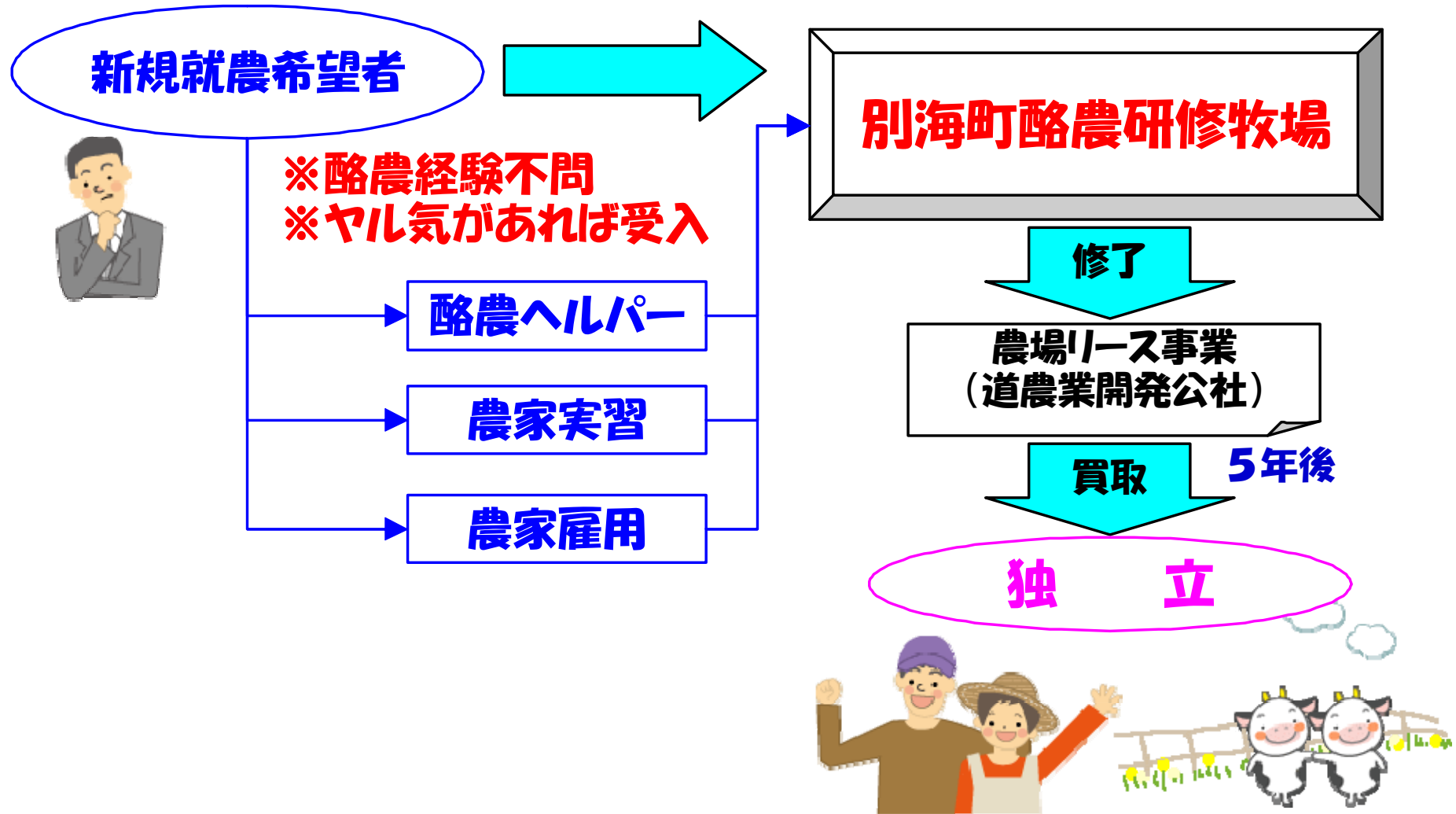
※ () は現在研修中 (内数)

研修生新規就農実績

年度	就農実績	備考	年度	就農実績	備考
9	0組		17	4組	
10	2組		18	5組・1人	1組中止
11	3組		19	3組	
12	5組		20	3組	
13	3組		21	4組	根室管外1
14	6組		22	3組	
15	3組	根室管外1	計	48組	現存47組
16	3組		23予定	4組	

※中止の1組は離婚によるもの

新規就農まで



参考：農場リース事業

公社が離農農家等の農場、施設等を一括整備して新規就農者にリースし、経営が安定したのち売り渡す（通常5年後）事業

①農用地の簡易な整備（事業費の1/2補助）

障害物の除去、排水対策、草地改良

②家畜飼養管理施設の整備（事業費の1/2補助）

補改修、増築、付帯機械

③畜舎内機械の整備（事業費の1/2補助）

- ・ バンクリナー（除糞）
- ・ ミルカー一式（搾乳）
- ・ バルククーラー（保存）

④乳用牛の導入（事業費の1/2補助）

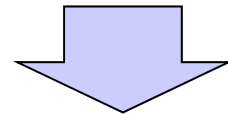
- ・ 48頭以内
- ・ 生後18カ月以上、48カ月齢未満
- ・ 価格 一頭当 350千円上限

就農後のサポート体制



修了生その後

- これまで離婚による1組の離農のみ
- 経営の悪化による離農者は無し
- 放牧酪農に取り組む者、高乳量を目指す者、その酪農スタイルは様々
- 修了生に関し、共通しているのは・・・



乳質が地域のトップクラス！

☆ 研修牧場で習得した衛生管理を遵守

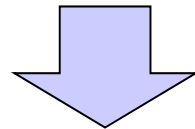
ISO9001の取得



- 平成16年3月18日に認証取得（毎年監査）
- その範囲は、①生乳生産、②研修生教育・訓練の企画及び実施
- 「安全でよいものをつくる」意識がより一層、牧場関係者のみならず研修生にも浸透

新規就農方法の多様化

- 新規就農者のほぼ100%が農場リース事業を活用
- 補助が出るとはいえ、初期投資は大変高い
- 機械の補助事業について要件変更があり、投資を要するようになった

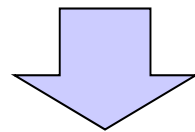


**TMRセンター構成員としての新規就農
(H23修了生1組)**

☆ 自給飼料機械を必要とせず、初期投資を抑えられる

今後について

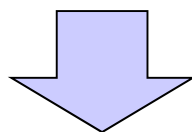
- 今後5年の間に別海町＋根室市の約900戸の酪農家のうち、2割が後継者不足などから離農する見込み
- 特に乳価が下がった今年から来年にかけて加速度的に離農者が発生する恐れ



新規就農者の発掘、育成がより一層必要となる！

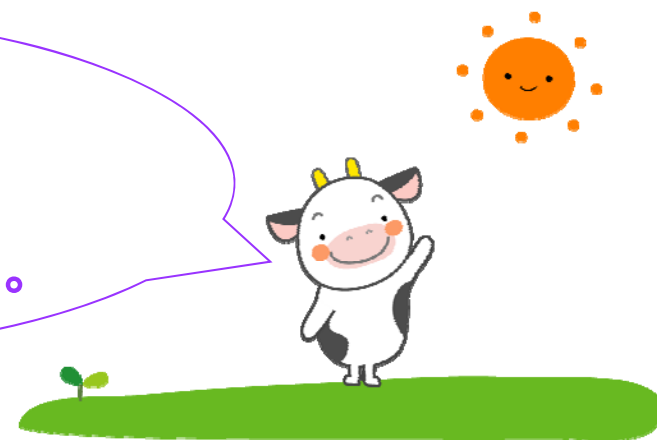
新規就農者の発掘について

- 全国農業会議所主催の東京・大阪での説明会に積極的に参加し、研修牧場をPR
- 酪農学園大学の学生に対し、研修牧場の取組み及び新規就農までの道のりを講義



更なるPR活動が重要！

今回の受賞は最高のPRになります！
ありがとうございます。



新規就農希望者との面接について

- 希望者には事前に必ず現地を見てもらう
- 決して、こちらから誘うような言葉はかけず、敢えて**酪農の厳しさを説く**（本当は、優しい言葉をかけて誘いたいところだが、グッと堪えて・・・）
- 再度、連絡をしてくる者は**覚悟を決めた者**と判断し、受け入れる
- 特に重要なのは、**妻の「ヤル気」**
⇒これまで研修を中止した者の多くは妻の精神的問題（夫の勝手な思いでは続かない）

研修牧場の方向性

研修牧場の生乳生産において、穀物依存から脱却すべく草地型酪農へ舵を切る準備を進めている。

- ① 牧草地の有効利用
- ② 糞尿の有効活用(当牧場ではバイオマスフレラントを実施している) – 化学肥料の減肥
- ③ テントコーン栽培(現12ha→19ha) – TDN自給率の向上
- ④ 飼料米の活用

研修牧場の生乳出荷先 (株)べっかい乳業興社

べっかいの牛乳屋さんシリーズ

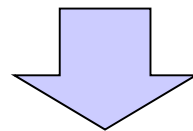


インターネット注文も承ります！



最後に・・・

- これまで、47組+1人を就農させ、1件の離農はあったものの、技術的な問題等による経営破綻者は出ていない
- 新たな酪農の担い手育成には自信があります！
- 担い手不足で悩むのは別海町及び根室管内だけではないはず
- そこで・・・



いつかは、全道及び全国規模での酪農担い手育成を任せてもらえるようになりたい！



ご清聴
ありがとうございます。
ございました。